

寝屋川市下水道事業の業務状況

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

寝屋川市上下水道局

1 事業の概況及び経理の状況

(1) 事業の概況

【業務の状況】

区分	令和5年度上半期 (A)	(参考)	
		令和4年度上半期 (B)	比較(A-B)
行政区域内人口(人)	226,083	227,957	△ 1,874
現在処理区域内人口(人)	225,440	227,291	△ 1,851
処理区域内人口普及率(%)	99.7	99.7	0.0
有収水量(m ³)	11,264,602	11,503,828	△ 239,226
行政区域内人口増減(人)[対前年度下半期]	△ 610	△ 560	△ 50

【建設改良事業の状況】

当期において発注した主な建設工事

事業名	金額(税込み・円)
古川雨水幹線バイパス管工事委託	1,888,000,000
高宮ポンプ場整備場外整備工事	31,872,500
ふるさとリーサム地区明和北地区道路築造工事に伴う公共下水道管路移設工事	4,137,100

(2) 経理の状況

○ 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：円）

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	1,523,926,422		
	(2) 雨水処理負担金	1,030,982,000		
	(3) その他営業収益	<u>284,600</u>	2,555,193,022	
2	営業費用			
	(1) 管渠費	20,654,315		
	(2) ポンプ場費	14,548,553		
	(3) 流域下水道管理費	753,009,178		
	(4) 普及促進費	1,870,379		
	(5) 業務費	2,195,035		
	(6) 総係費	7,048,351		
	(7) 減価償却費	0		
	(8) 資産減耗費	<u>0</u>	<u>799,325,811</u>	
	営業利益			1,755,867,211
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	29,922		
	(2) 他会計負担金	84,742,000		
	(3) 補助金	13,300,000		
	(4) 長期前受金戻入	0		
	(5) 雑収益	<u>428,865</u>	98,500,787	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	230,941,805		
	(2) 雑支出	<u>585,758</u>	<u>231,527,563</u>	<u>△ 133,026,776</u>
	経常利益			1,622,840,435
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	0		
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	当期純利益			1,622,840,435

（注）減価償却及び長期前受金の収益化を年度末に一括で処理するため、減価償却費及び長期前受金戻入は計上していない。

○ 貸借対照表 (令和5年9月30日)

(単位:円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		750,479,621	
ロ 建物	2,981,136,322		
減価償却累計額	<u>△ 38,721,513</u>	2,942,414,809	
ハ 構築物	84,898,843,146		
減価償却累計額	<u>△ 23,979,508,126</u>	60,919,335,020	
ニ 機械及び装置	1,906,887,019		
減価償却累計額	<u>△ 289,824,038</u>	1,617,062,981	
ホ 工具器具備品	5,650,260		
減価償却累計額	<u>△ 4,828,221</u>	822,039	
ヘ 建設仮勘定		<u>438,197,094</u>	
有形固定資産合計			66,668,311,564

(2) 無形固定資産

イ 施設利用権		12,052,108,725	
ロ 電話加入権		<u>1,520,000</u>	
無形固定資産合計			<u>12,053,628,725</u>
固定資産合計			78,721,940,289

2 流動資産

(1) 現金預金		164,565,385	
(2) 未収金	1,375,149,662		
貸倒引当金	<u>△ 4,231,922</u>	1,370,917,740	
(3) 前払金		779,530,474	
(4) 短期貸付金	1,000,000		
貸倒引当金	<u>0</u>	1,000,000	
(5) その他流動資産		<u>78,031,071</u>	
流動資産合計			<u>2,394,044,670</u>
資産合計			<u>81,115,984,959</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	36,672,299,005		
企業債合計		36,672,299,005	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	27,257,747		
引当金合計		27,257,747	
固定負債合計			36,699,556,752

4 流動負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,716,183,040		
企業債合計		2,716,183,040	
(2) 未払金		19,674,457	
(3) 前受金		0	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	0		
ロ 法定福利費引当金	0		
引当金合計		0	
(5) 預り金		2,637,317	
(6) その他流動負債		152,189,674	
流動負債合計			2,890,684,488

5 繰延収益

長期前受金		30,309,241,614	
収益化累計額		△ 7,204,236,943	
繰延収益合計			23,105,004,671
負債合計			62,695,245,911

資本の部

6 資本金 15,374,341,170

7 剰余金

(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	127,108,975		
ロ 国庫補助金	135,500,000		
資本剰余金合計		262,608,975	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	1,010,948,468		
ロ 当年度未処分利益剰余金		150,000,000	
繰越未処分利益剰余金		0	
その他未処分利益剰余金		0	
当年度純利益	1,622,840,435		
利益剰余金合計		2,783,788,903	
剰余金合計			3,046,397,878
資本合計			18,420,739,048
負債資本合計			81,115,984,959

2 令和4年度の決算の状況

下水道事業は、昭和44年度から事業を開始し、安全で快適な市民生活が営めるよう積極的に整備を進め、令和4年度末の人口普及率は99.7%に達しています。今後においては、経年化した管渠等下水道施設の改築・更新を計画的かつ効率的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、経年化が進む公共下水道施設のライフサイクルコスト縮減と計画的な改築・更新を進めるため、下水道ストックマネジメントの取組の推進や、地震時における下水道機能の確保等を目的とした、下水道施設の地震対策の取組を進めるとともに、下水道事業経営の基本となる投資・財政計画である「上下水道事業経営戦略」に基づき、投資と財政が均衡する持続可能な下水道を実現するための取組を推進しました。

また、近年増加傾向にある短時間豪雨等による浸水の防除を図るため、公共下水道雨水対策事業として、高宮ポンプ場整備事業及び古川雨水幹線整備事業を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応として、下水道使用料の支払猶予などの取組を実施しました。

【決算概要】

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

項目	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
下水道事業収益 ①	5,667,455	5,806,133	△ 138,678
下水道事業費 ②	5,112,605	5,211,774	△ 99,169
差引 ③ (①-②)	554,850	594,359	△ 39,509
税抜き処理による増減額 ④	△ 162,912	△ 154,994	△ 7,918
純損益 (③+④)	391,938	439,365	△ 47,427
利益剰余金	1,660,948	1,269,010	391,938

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

項目	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
資本的収入 ①	4,968,081	5,451,063	△ 482,982
資本的支出 ②	7,719,722	7,601,568	118,154
差引 (①-②)	△ 2,751,641	△ 2,150,505	△ 601,136

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,751,641千円は、減債積立金500,000千円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額162,912千円、損益勘定留保資金2,088,729千円で補てんした。

【業務量】

区分	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
行政区域内人口 (人)	226,693	228,517	△ 1,824
現在処理区域内人口 (人)	226,096	227,897	△ 1,801
処理区域内人口普及率 (%)	100	100	0
現在処理区域内面積 (ha)	1,812	1,812	0
年間有収水量 (m ³)	22,831,496	23,251,572	△ 420,076

【経営指標】

区 分	令和4年度 A	(参考)	
		令和3年度 B	比較(A-B)
使用料単価 (円/m ³)	135.3	135.6	△ 0.3
汚水処理原価 (円/m ³)	129.3	129.2	0.1
経費回収率 (%)	104.6	104.9	△ 0.3
経常収支比率 (%)	107.9	108.7	△ 0.8
有形固定資産減価償却率 (%)	27.1	26.9	0.2
管渠老朽化率 (%)	2.3	0.7	1.6

【主要事業】

事業名	概要	決算額 (円)
古川雨水幹線整備の整備	市西地域における浸水対策の新たな根幹施設として、古川雨水幹線バイパス管の整備工事を行った。 ・古川雨水幹線バイパス管工事 ・電柱等移設負担金 [令和3年度～令和7年度の継続事業]	226,322,717
高宮ポンプ場の整備	(旧)国道170号以西地域への雨水の流出を抑制する浸水対策の新たな根幹施設として、高宮ポンプ場の整備工事を行った。 ・設備工事 ・場内整備工事 ・分水人孔付帯工事 等 [平成27年度～令和5年度の継続事業]	1,162,188,295
下水道総合地震対策計画の策定	大規模地震の発生時においても、下水道の有すべき機能を維持できるよう、下水道施設（重要幹線等）の地震対策に関する計画を策定した。 ・下水道施設（重要幹線等）の優先順位の確定 ・管路施設の耐震化計画の策定	17,042,300